

会社情報・株式情報



※写真は本社所在地である赤坂インターシティAIRです

社長メッセージ



大型開発案件の完了、財務体質の改善、組織風土改革を経て、 更なる改革に向けた新中期経営計画をスタート。

代表取締役社長
内田 和弘

株主の皆様におかれましては、平素より当社の経営に対し多大なるご協力とご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。

2018年3月期決算概況

当事業年度は、カードシステム事業における大型システム開発案件が完了し、無事に稼動を迎えることができました。売上については、カードシステム事業のシステム開発、運用やHULFTが好調で予想より増加しました。利益については、HULFT事業におけるグローバル展開強化、投資を継続しましたが、カードシステム事業において新旧システムの開発、並行運用を行ったことにより一時的に収益率が高まり予想を上回る増益となりました。

財務内容については、借入金を完済して2016年3月末に21.3%に下がった自己資本比率も55.0%に回復し、改善しました。また、株式会社フェスの事業譲渡を実行し、経営資源の一層の選択と集中を進めてきました。

さらに、2016年に社内に創設したテクノベーションセンターを中心に先端技術の研究と応用を推進し、ロンドンにHULFT事業の新たな拠点を設置しグローバル展開を推進するなど、将来の更なる成長への布石を打ち、組織風土改革への継続的な取り組みにより事業基盤の強化を図ることができたと捉えています。

新中期経営計画策定

当事業年度は、大型システム開発の完了・稼動、財務体質の改善、組織風土改革への取り組みによる社員オピニオンサーベイにおいて一定の成果を得ることができました。しかし、一方で新たな事業を創出し新しい収

益を獲得するために事業領域を拡大すること、そのための自己変革がまだ十分といえないことから、2019年3月期を1年目とする新たな中期経営計画を策定しました。

また、新中期経営計画の策定に伴い、従来のカードシステム事業をFintechプラットフォーム事業、流通・ITソリューション事業を流通ITサービス事業、システムサービスセンターをスマートサービスセンターへそれぞれ名称変更し、HULFT製品開発力をより一層強化するため、プロダクトディベロップメントセンターを新設しました。これに伴い3事業部/センターで新任部門長が就任し、スマートサービスセンターでは、初の女性センター長が誕生しました。

新中期経営計画では、当社が長く培ってきたお客様に寄り添ったシステム開発のノウハウ、知識に加え、テクノベーションセンターで行った先端技術に関する研究成果を活用し、これまでの当社が得意とする領域での収益性向上と新たに事業を拡張させる領域での売上拡大を図る3年間となります。

1年目は当事業年度と比べると売上高・営業利益ともに減少する計画ですが、新技術・新領域への事業展開に向けた取り組みを推進し、3年後には当事業年度と同じ水準まで再成長する計画としています。

株主の皆様へ

当期の配当については、好調であった業績を反映させ、配当予想より10円増配し45円(年間配当金)としました。今後も当社の配当方針である業績連動と安定を両立させた配当を継続していきます。

引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

■2018年3月期業績

売上高 **303.9億円**
(前年同期比 ▲2.0%)

営業利益 **43.6億円**
(前年同期比 +30.1%)

経常利益 **43.4億円**
(前年同期比 +36.6%)

親会社株主に帰属
する当期純利益 **43.1億円**
(前年同期比 +82.4%)

■セグメント別

カードシステム事業

売上高 **164.3億円**
(前年同期比 +4.9%)

利益 **37.0億円**
(前年同期比 +46.2%)

流通・ITソリューション事業

売上高 **45.1億円**
(前年同期比 ▲7.8%)

利益 **1.3億円**
(前年同期比 -)

HULFT事業

売上高 **73.4億円**
(前年同期比 +3.7%)

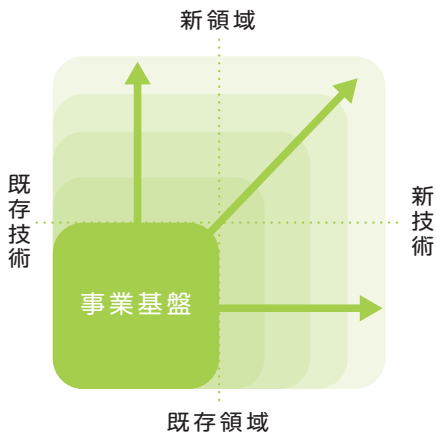
利益 **11.1億円**
(前年同期比 ▲10.9%)

新中期経営計画

つながる価値、広がる未来

様々なデータが業種業態を超えてつなげられ、AIで分析され、RPAで自動処理され、BIでグラフィカルに表示されるビッグデータ時代が到来し、データ間の結合や相互利用が新しい価値を生み、未来の可能性を大きく広げる、私たちはそう考えています。

当社では、事業基盤である既存のビジネスは継続しつつも、そのノウハウとお客様基盤、近年注力した研究開発、投資の成果等を融合させ、新しい価値を生み未来の可能性を広げる“バイモーダル・インテグレーター”として、ビジネス領域での成長を図り、カテゴリートップを具現化していきます。



セゾン情報システムズの中期経営ビジョン

カテゴリートップの具現！

～特定分野において、ダントツの存在感を発揮する～

存在感の源となる姿
バイモーダル・インテグレーター

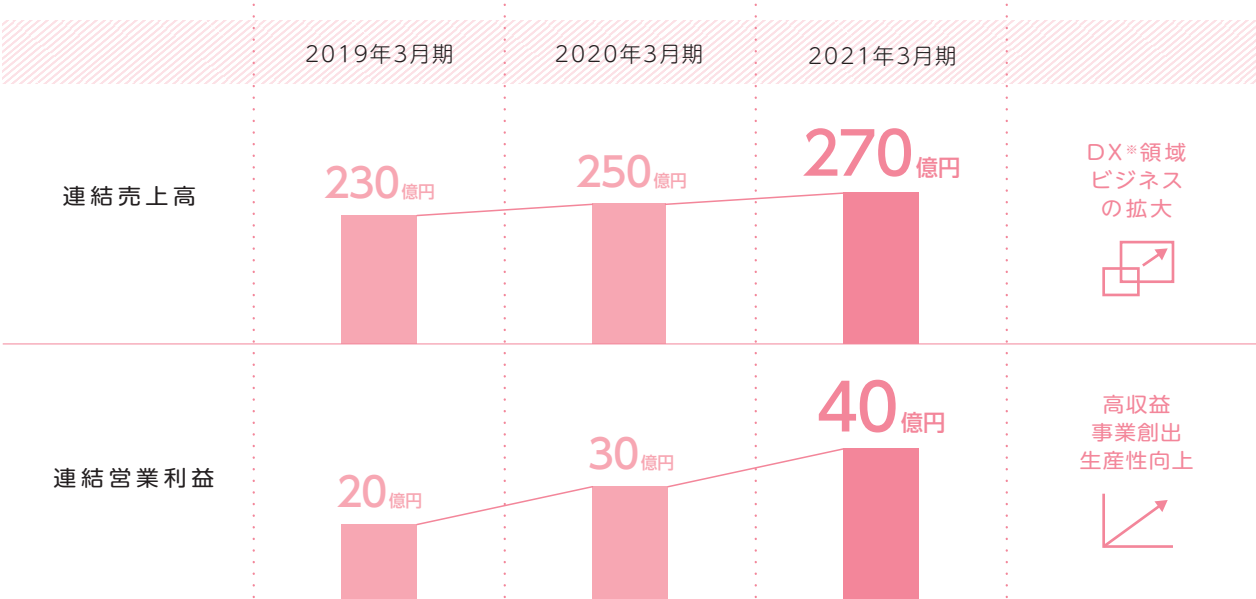
従来型の堅牢安全なMode-1能力と、先端技術を駆使し俊敏なMode-2能力の双方を兼ね備える。

2021年3月期までの目標は？

中期経営目標

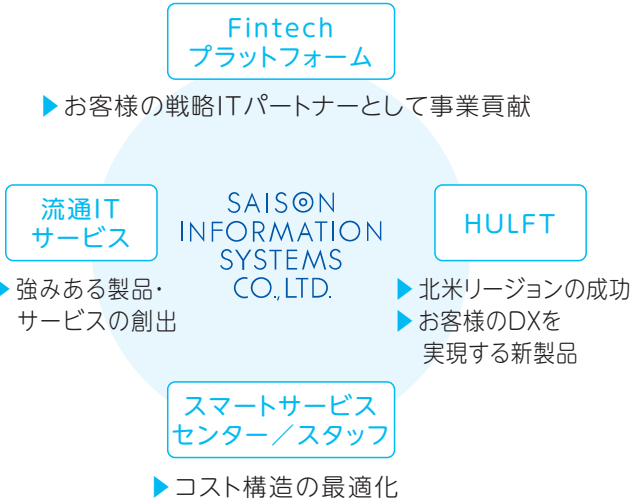
魅力的で稀有な高収益(*)IT企業となり、企業価値の最大化を実現

* ROE20%以上を恒常的に計上することを目指す



※DXとはデジタルトランスフォーメーションの略で、ここではデジタル技術(=IT)の発展により企業活動やビジネス活動に変革をもたらすことを指しています

取り組むべきテーマは？



- 製品・サービス**
 - ▶ 魅力的な製品・サービスの創出
 - ▶ 営業・マーケティング力の強化
 - ▶ 先端技術力の強化
- 事業基盤**
 - ▶ 業務基盤、IT基盤の最適化
 - ▶ 抜本的なコスト構造の最適化
- 技術開発**
 - ▶ プロジェクト品質フレームワークの再構築
 - ▶ モダン開発の標準化
 - ▶ 自社開発の推進
- 風土・人材ブランド**
 - ▶ 組織風土改革
 - ▶ 人材開発・人材確保
 - ▶ 現場力、ラインマネジメント力、実行力の強化

特にこの中期で重要な施策は？

New Businessの創出	「つなぐ」をキーに、RPA※、ブロックチェーン、ビッグデータ、クラウドなど先端技術を活用
HULFT事業の再成長	グローバル展開やIoT領域等への注力
新技術への対応と開発力強化	AIをはじめとする先端技術のR&D推進とモダン開発の標準化
仕事改革と生産性の向上	教育体系の刷新、生産性モニタの充実 新人事プログラムの定着
変化に適応するバイモーダルな組織風土への自己変革	お客様業務知識を活かした先端技術の適用 組織階層のフラット化

私たちが普遍的に目指すもの・ミッションステートメント

生活者向けに利便性、快適性及び心の豊かさを提供する企業に対し、事業維持・成長・拡大に必要不可欠かつ時代環境に適応したITサービスの提供を通じて、イノベーションを加速させ、近未来社会に貢献する

事業紹介

日本の多くの銀行のシステムには「HULFT」が使われています。安心安全が求められるデータ連携には欠かせない存在です。



銀行

百貨店／スーパー



たくさんの商品の管理や受発注など、お店づくりに欠かせないサービスシステムを提供しています。



クレジット
カード

利用されるクレジットカードの申込受付、受付後の審査、カード情報の作成からご利用時の決済の仕組みまで幅広く提供しています。



空港

航空券予約～購入～チェックインがスムーズにおこなえるWEB予約システムの構築も手掛けています。

製造業の工場でも「HULFT」は多く活用されています。「HULFT IoT」により様々なデータの収集・蓄積・活用を実現いたします。

工場



■ Fintechプラットフォーム事業
■ 流通サービス事業
■ HULFT事業

セゾン情報のシステムは、様々なシーンで活用されています。

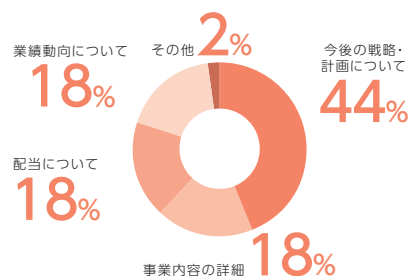


株主スウェア

株主アンケート結果のお知らせ

2018年3月期上半期ビジネスレポートのアンケートにご回答をいただきありがとうございました。アンケートの結果、今後の戦略・計画を知りたいとの声を多くいただきました。今回は中期経営計画のご紹介にもっとも力を入れておりますので、是非ご覧ください。今後とも株主の皆様が知りたい情報の提供に努めてまいります。

〈今後どのような情報を知りたいか〉



よくあるご質問にお答えします



Question 1

配当の考え方について教えてください。

当社では、業績との連動性（配当性向30%）と安定配当を配当の方針としています。第2018年3月期期末配当は当初予想の25円に特別配当10円を加算し35円へと修正を行いました。これには、業績のみならずグループ会社の売却に伴う利益還元の側面も含んでいます。今後とも株主の皆様へ還元できるよう企業価値の向上に努めてまいります。

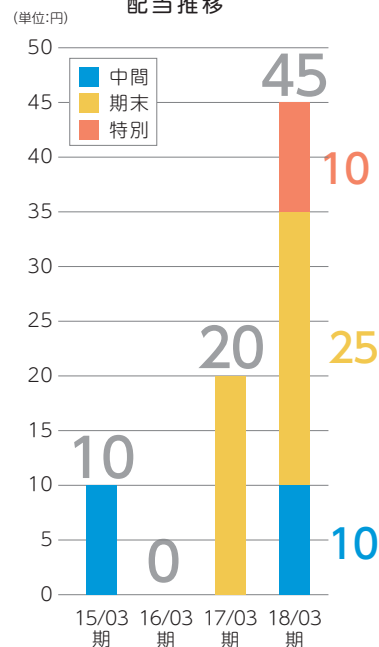


Question 2

具体的なビジネスの展望を教えてください。

今回の中期経営計画は、今後の成長を目指して新領域へのビジネス拡大を図ることとしております。当社では、ビジネス環境が大きく変化することを見越して、前中期経営計画から先端技術の研究開発に多くのリソースを割いてきました。既存ビジネスのノウハウと先端技術の両軸を武器に、新技術を用いた成長性および収益性の高い事業へビジネス領域を拡大します。具体的には、2018年3月期までのカードシステム事業はより広範囲であるFintech(Financialとtechnology)プラットフォームをビジネス領域とし、流通・ITソリューション事業はお客様がオーダーメイドシステムを購入するのではなく、必要な時に利用するITサービスビジネスへの転換を図ります。

配当推移



会社情報

会社概要 (2018年3月31日現在)

商号 株式会社セゾン情報システムズ
SAISON INFORMATION SYSTEMS CO.,LTD.
設立年月日 1970年9月1日
資本金 13億6,768万7,500円
従業員数 778名(連結)、690名(個別)
本社所在地 東京都港区赤坂一丁目8番1号

役員構成 (2018年6月21日現在)

代表取締役社長	内田	和弘
常務取締役	小野	和俊
取締役	土橋	真吾
取締役	大沢	隆
取締役	藤内	聖文
取締役	山本	善久
取締役(非常勤)	川野	忠明 *
取締役(非常勤)	鈴木	孝一 *
取締役(非常勤)	吉田	雅彦 *
取締役(非常勤)	屋代	浩子 *
常勤監査役	三谷	宏雄 *
常勤監査役	三宅	信一 *
監査役(非常勤)	小川	憲久 *
監査役(非常勤)	小林	隆博 *

* 社外取締役、社外監査役

関係会社の状況

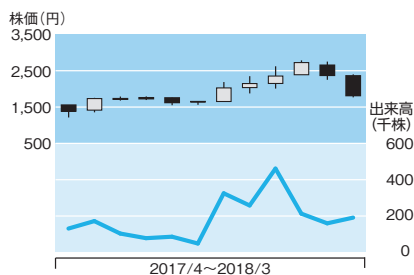
世存信息技术(上海)有限公司	資本金 :2億円 出資比率:100% 事業内容:ソフトウェア開発、 パッケージ販売
株式会社アプレッソ	資本金 :2億6,700万円 出資比率:100% 事業内容:ソフトウェアパッケージの 開発、販売、サポート
HULFT Pte. Ltd.	資本金 :100万シンガポールドル 出資比率:100% 事業内容:ソフトウェアパッケージの 販売促進
HULFT, Inc.	資本金 :800万USドル 出資比率:100% 事業内容:北米地域へのマーケティング、 現地パートナーの 販売活動支援、 トレーニング、研究開発

株式情報

株式の状況 (2018年3月31日現在)

発行可能株式総数 60,000,000株
発行済株式の総数 16,200,000株
株主数 3,571名

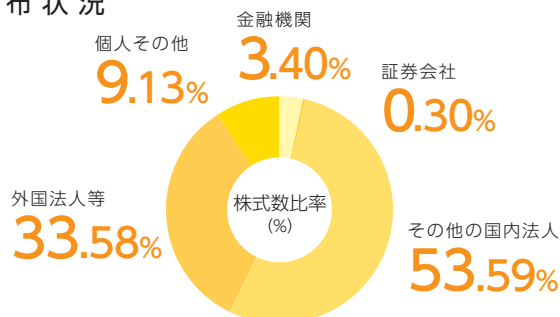
株価・売買高の推移



株式会社 セゾン情報システムズ
<http://home.saison.co.jp/>

所有者別分布状況

株主分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	3月31日から3ヵ月以内
配当金受領株主確定日	3月31日及び中間配当を行う場合は9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人 同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
〔郵便物送付先〕 〔電話照会先〕	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL : 0120-288-324(フリーダイヤル)

